

2013.11.19 第40期 経営計画発表会を開催致しました。



開催日：平成25年11月16日

場所：ホテルサンルート栃木

多数の来賓の方にお越し頂きまして「第40期 経営計画発表会」を開催致しました。栃木アンカー工業(株)（荒金憲一代表取締役）は16日、栃木市内のホテルサンルート栃木で「第40期経営計画発表会」を開催した。

同社社員をはじめ、佐々木宏幸(株)荒井設計代表取締役、高田光浩ケーブルテレビ(株)代表取締役、金融機関などの関係者ら多くの来賓を含め約70人が参加。

荒金社長が将来を見据えて策定した経営計画書を示すとともに、各事業部の代表者が事業部方針を発表。

全社員が経営計画書の内容を実践し、会社の発展に力を尽くしていくことを確認した。

発表会では、はじめに久米仁史アンカー事業部札幌営業所長が開会を宣言し、全員で君が代を斉唱。

荒金社長が来賓一人ひとりを自身とのエピソードを交えながら紹介した後、自らの叡智と魂を刻み込んで作成した経営計画書を発表した。

荒金社長は

「かねてから2013年は大きな流れの変化が起きると予測していた年」と述べ、将来展望を披露。

「この経営計画書を全社員がバイブルとして達成することが生き残れる勝ち組、つまり価値のある企業に入るための最終仕上げになる」と説明。

「経済の天津波にのみ込まれないよう将来を見据えて手を打っている。天地がひっくり返ろうとも私はひたすら社員の幸福と会社の発展を願って進む」と語り、経営計画書の内容を約2時間にわたって解説した。

来賓の佐々木社長は

「荒金社長は会うといつも経営の哲学を教えてくれる兄のような存在。40期続くこの素晴らしい経営計画書を持った会社は少なく、社員の皆さん本当に幸せだ」

と祝辞を披露。

群馬銀行の鈴木睦柝木支店長、(株)藤屋の滝澤尚二代表取締役、(株)中藏の青木義照代表取締役会長、荒金社長が会長を務めるケーブルテレビの高田代表取締役からも荒金社長の優れた経営手腕や先見性に期待する言葉が贈られた。

続いてリニューアル事業部の青木紀朗専務取締役、アンカー事業部の河野二三男常務取締役、改良土事業部の荒金啓将常務取締役がそれぞれの事業部方針を発表。

最後に菅原浩アンカー事業部研究学園都市営業所長が社員決意を表明した。

発表会後には懇親パーティが行われ、採用予定内定者、優秀社員表彰などの後、芝浦工業大学の本橋健司教授の音頭で乾杯。

満川元久(株)鈴木公共建築設計監理事務所代表取締役社長らも駆け付け、満川社長夫人の恵さん、荒金社長夫人の恵実子さんへの花束贈呈、ビンゴゲームなどが催され盛会となった。

平成24年11月20日 日本工業経済新聞 記事より

ビンゴゲームでご来賓の方々より頂きましたチケット代に当社よりお祝い金を加え、地域に根差す企業として栃木市に寄付予定です。

2013.6.29 平成25年度 栃木アンカー工業株式会社「安全大会」開催

開催日：平成25年6月21～6月28日

日時	場所	安全講話
6月21日(金)	水戸営業所 (水戸、研究学園都市 合同)	清水建設株式会社 安全長 熊田 清 様
6月24日(月)	宇都宮営業所 (宇都宮、改良土 合同)	大成建設株式会社 統括所長 山浦 真幸 様
6月25日(火)	本社	東鉄工業株式会社 所長 及川 徳郎 様

6月27日(木)	群馬営業所 (群馬、埼玉 合同)	清水建設株式会社 工事長 会田 雅弘 様
6月28日(金)	札幌営業所	岩田地崎建設株式会社 工場長 大城 洋一 様

今年も、我が社の熱い願いで各営業所へお越し頂き、安全講話をして頂きました。そして、その貴重なお話はWEB会議システムを使い、全営業所へ配信させて頂きました。

社員一同 「安全」という言葉の大切さについて改めて学ばせて頂きました。安全講話で頂いたお言葉を心に刻み、安全に行動して行きます。

講師の来て頂いた皆様方には大変お忙しい中、弊社安全大会に起こし下さいまして、本当に有難う御座いました。

2013.4.13 2013年4月12日 『市民協働まちづくりファンド』へ寄付を行いました。

栃木アンカー工業㈱は12日、市民の公益的な活動などに使われる市の市民協働まちづくりファンドに22万1500円を寄付した。
同社には市から感謝状が贈られた。

同社は「幸せのお裾分け」を合言葉に、社員全員が自主的に寄付した浄財を2006年から市に寄せている。
同ファンドへの寄付は14回目、総額は287万円を超える。

この日、荒金社長らが市役所を訪れ「わたしたちの気持ちです。市民活動推進のためにお使い下さい」と述べ、鈴木俊美市長に寄付金を手渡した。

鈴木市長は「いつもありがとうございます。有効に活用させていただきます」とお礼の言葉を述べた。



募金をする様になったのは
当社の募金の基本は『幸せのお裾分け』

自分の周りが幸せにならないで、自分一人が幸せになる事はない。
自分の会社の周りが汚くて、自分の会社だけキレイでいられる訳がない。
自分達が頑張れた時や運の良い時には、その幸せをお裾分けする事が、大切と思う。

1) 私達の会社に

平成11年に栃木県の学校の先生の教育実習受入
平成13年に栃木市役所3部署の課長以上の人教育受入、及び部下の方の教育
平成14年郵便局長及び管理者受入教育
平成18年度から栃木市市役所民間研修受け入れ
(1人3ヶ月×10人=3年間)

2) 受け入れの考え方

受入は共に学び共に成長する事だけど、
どちらかという受け入れる側は、教えるという立場になりやすい為、それを戒める為と、地域と共に生きる為にはどうするかを社員と話し、市役所等に協力する為には、会社と社員は何をすればいいかという事を討論した。
それは募金だねという事で、会社及び社員、又、ある時は協力業者やお客様にご協力を願い、人にものを教えるという事と、自己成長と感謝の気持ちを募金に沿えました。

栃木アンカー工業株式会社
代表取締役 荒金 憲一

栃木アンカー工業(株)寄附活動履歴

1. 『市民協働まちづくりファンド』への寄附

No	寄付年月日	内訳	金額
1	平成18年4月3日	栃木アンカー工業株式会社	¥224,235
2	平成18年7月4日	栃木アンカー工業株式会社 社員一同	¥176,700

3	平成19年2月19日	栃木アンカー工業株式会社	¥301,800
4	平成19年6月30日	栃木アンカー工業株式会社	¥425,000
5	平成20年1月25日	栃木アンカー工業株式会社 社員 一同	¥96,500
6	平成20年5月30日	栃木アンカー工業株式会社	¥297,224
7	平成20年10月28日	栃木アンカー工業株式会社 社員一 同	¥124,493
8	平成21年12月15日	栃木アンカー工業株式会社 社員一 同	¥126,465
9	平成22年6月25日	栃木アンカー工業株式会社	¥100,000
10	平成22年12月27日	栃木アンカー工業株式会社	¥131,500
11	平成23年5月11日	栃木アンカー工業株式会社	¥189,636
12	平成24年4月12日	栃木アンカー工業株式会社	¥230,000
13	平成24年9月18日	栃木アンカー工業株式会社	¥232,100
14	平成25年4月12日	栃木アンカー工業株式会社	¥221,500
	合計	14口	¥2,877,153

2. 『市政振興寄与』への寄附

No	寄付年月日	内訳	金額
1	平成20年11月10日	栃木アンカー工業株式会社	¥269,000
	合計	1口	¥269,000

3. 『東北地方太平洋沖地震に伴う被災者支援』 義援金への寄附

No	寄付年月日	内訳	金額
1	平成23年5月11日	栃木アンカー工業株式会社	¥500,000
	合計	1口	¥500,000

4 . 栃木市への寄附合計

回数	合計寄附額
16	¥3,646,153

5 . その他の寄付

No	寄付年月日	内訳	金額
1	平成21年11月30日	日本赤十字事業資金	¥10,000
2	平成22年3月18日	学校法人 常盤大学	¥20,000
3	平成22年12月27日	学校法人 群馬育英学園	¥10,000
4	平成23年11月7日	日本赤十字事業資金	¥10,000
5	平成24年11月5日	日本赤十字事業資金	¥10,000
	合計	5口	¥60,000

6 . 栃木県への寄附

No	寄付年月日	内訳	金額
1	平成23年3月28日	東北地方太平洋沖地震被災者支援義 援金 『とちまる募金』	¥1,500,000
2	平成23年8月8日	東北地方太平洋沖地震被災者支援義 援金 『とちまる募金』	¥22,231
	合計	2口	¥1,522,231

7 . 寄附総合計

回数	総合計寄附額
23	¥5,228,384

2013.4.1 平成25年度 入社式



栃木アンカー工業株式会社 平成25年度 入社式を平成25年4月1日に開催致しました。

今年もパワー溢れる新人が入社致しました。

『入社式の社長のお言葉』

**どんなに良い物でも、どんなに技術があろうとも、
お客様に買って頂かないと意味が無く、
お客様に好かれる為の努力をする事が大切だ。**

今の時代は

どんなに辛くとも

嘘をついたり

人をだましたりしてはいけない

嘘をついた人や企業は

一時的に利がでて

何も身に付かない

嘘は必ず暴露する

正々の旗 堂々の陣を張り

ただただ嘘を付かず、真摯に生き

お客様の事を一心に想いながら

我社は進む

それが私の人生 私の生き方

社員も同じ船に乗って

真剣にオールを漕いでくれる事を

信じて

アベノミクス 2%の成長するかどうかは、消費税の増税に影響する。

今後3年間で株式は8,000円上がり、16,500円になるだろう。

また物価が1.5倍になる。しかし、給料はそこまであがらない。
参議院選前には14,500円になる可能性が大きい。

もし昭和元年に生まれたら男は絶対に兵隊にならなくてはいけない。
昭和21年以後に生まれたら兵隊にならなくても良い。

韓国と北朝鮮は臨戦状態にある。
いつ戦争が起こってもおかしくない。

観光地として海外から人を呼ぶには、信号や標識、
その他外国語で表記するなど受け入れる準備や決意が必要。

中国は公害により、環境問題に注目してみると
エコカーに力を入れるが電気自動車は売れない。なぜか？
中国は領土広い為、充電スタンド設置などの問題が浮上。
その結果、中国ではハイブリットカーが売れるだろう。

無形の心を動かすのは十の言葉

1. 叶を1日10回、1年で3,650回唱える。
2. 私は運が良い、1日10回、1年で360回。
3. 私は良い出会いをする、1日10回、1年で3,650回。

成果 = 努力 × 能力 × 考え方 価値観
努力 能力が「プラス」であっても、考え方が「マイナス」では成果は「マイナス」になる。

東日本大震災の際、指導者が正しい判断をした所はすぐに避難して生き残ったが、
指導者がすぐに判断しなかった所は津波に飲まれて多くの犠牲を出した。

嘘をつかない明るい社員の集う会社にする。

ホスピタリティを大切にする。(募金や寄付 ボランティアなど)

仕事とは 事に仕える

スイスの哲学者の言葉として
仕事はまずやってみること
今日やれる事は今日やる

明日にずらす事は相手に迷惑を掛ける
今あなたは帰社時間かも
お客様のお客様はお昼かも（海外）
今あなたが30分間残業すれば
お客様のお客様は今日中に仕事ができる
明日になって仕事をすれば
お客様のお客様は明後日になるかもしれない
また明日は無いかも知れない
明日は病気になるか、事故になるか
死ぬかもの危険性をはらんでいる
伸びる人は今日中に終わらせる事を
心掛けている人
「明日でいいですか」という言葉はやめよう。
仕事とは
例：秘書は社長が元気で働ける補佐をする仕事

平成25年度 新入社員の一言意気込みメッセージ です！

- * 大栗道子...会社にとって必要とされる社員になるよう頑張ります。
- * 大笹臣人...即戦力になれるようにしたいです。
- * 國井優哉...まずは仕事になじみ、早く栃木アンカー工業(株)の一員になっていきます。
- * 齋藤拓磨...何事にも全力で挑戦したいです。
- * 辰野記子...大きな声で元気な挨拶をします。
- * 直井綾香...笑顔を忘れる事なく、日々成長して行きます。
- * 長瀬靖佳...栃木アンカー工業(株)の一員として、明るく元気に笑顔で全力で頑張ります。
- * 野中信吾...新社会人として、フレッシュに全力で頑張ります。
- * 橋本 聡...社会人のマナーや礼儀を覚えて、夢を叶えるため努力します。

以上10名が栃木アンカー工業株の目標を達成する同志となりました。

2012.12.7 第39期 各部門経営計画説明会を開催致しました。

担当部署ごとに経営計画説明会を行いました。

説明会を通して全員が今期の会社方針 各部門ごとの方針を把握し、社員一丸となって取り組み、激しく変化する動乱期を乗り切る決意を改めて固めました。

リニューアル事業部 日時：11月22日(木)



耐震補強と外壁調査、永きに渡り技術を蓄積してきた我社の自信の持てるこの2本の商品を柱としながらも橋梁補修工事など、新しい事業にも取り組んで参ります。

リニューアル事業部 専務取締役 青木紀郎

水戸 研究学園都市 日時：11月23日(金)



埼玉 群馬 日時：11月27日(火)



宇都宮 改良土事業部 日時：11月28日(水)



本社 栃木 日時：11月30日(金)



札幌 日時：12月4日(火)



2012.11.20 第39期 経営計画発表会を開催致しました。



開催日：平成24年11月17日

場 所：栃木サンルートプラザホテル

多数の来賓の方にお越し頂きまして「第39期 経営計画発表会」を開催致しました。

栃木アンカー工業(株)（荒金憲一代表取締役社長）は17日、栃木市のサンルートプラザ栃木で「第39期経営計画発表会」を開催した。

同社及びグループ企業の社員をはじめ、金融機関、設計会社、栃木商工会議所などの来賓を含め約70人が参加。

荒金社長が経営計画を発表し、社員一丸となって激しく変化する時代の中で勝ち抜いていくことを誓った。

はじめの経営計画の発表で荒金社長は「良い商品が売れるのではなく売れる商品が良い商品ということは、社員の資質によって差がつくということ。

価値観の変化に対応し、時代の流れを手に入れなければならない。

今は時代の転換期であり、競争に勝った会社だけが生き残る。

勝ち組に入るため、言葉と行動を一致させ、全員で動乱期を乗り切ろう」と社員に呼びかけた。

続く、事業部方針の発表ではリニューアル事業部の青木紀郎専務、アンカー事業部の河野二三男常務、改良土事業部の荒金啓将常務が部の方針を発表。

すべての社員が社長の方針と経営計画に基づいて時代の流れを掴みとり、お客様第一主義を貫いていくことを確認した。

来賓からは(株)安藤設計の安藤寛樹代表取締役が「今の設計の仕事は8割ほどが耐震。20年も前に耐震の時代を読んでいたのが荒金社長。

その経営方針は私の会社の参考になる。設計業界とは切っても切れない関係であり、意見を出し合って新たな仕事をつくり出していきたい」と栃木アンカー工業(株)に期待する祝辞を述べた。

栃木商工会議所の和賀良紀専務理事、群馬銀行栃木支店の鈴木睦支店長、藤屋の滝澤尚二代表取締役、(株)中藏の青木義照代表取締役会長からも同社の発展を願う言葉が贈られ、最後に、栃木営業所の村山聖義氏が社員決意表明を読み上げ、閉会となった。

経営計画発表会後は、来年度採用内定者の紹介や優秀社員表彰などを交えた懇親パーティーが行われ、社業の発展を期した。

平成24年11月20日 日本工業経済新聞 記事より

2012.11.15 2012年11月5日 『日本赤十字社事業資金』へ寄付を行いました。

栃木アンカー工業(株)は11月5日、『日本赤十字社事業資金』へ寄付を行いました。
寄付額は10,000円になります。

2012.9.18 2012年9月18日 『市民協働まちづくりファンド』へ寄付を行いました。

栃木アンカー工業(株)は9月18日、『市民協働まちづくりファンド』へ寄付を行いました。
寄付額は232,100円になります。

2012.9.18 2012年4月12日 『市民協働まちづくりファンド』へ寄付を行いました。

栃木アンカー工業(株)は4月12日、
『市民協働まちづくりファンド』へ寄付を行いました。
寄付額は230,000円になります。

2012.7.10 平成24年度 栃木アンカー工業株式会社「安全大会」開催

開催日：平成24年6月27～7月6日

日時	場所	安全講話
6月26日(火)	宇都宮営業所	清水建設株式会社 工事長 阿部明和 様
6月28日(木)	水戸営業所	清水建設株式会社 統括所長 中塚 寛 様
7月2日(月)	本社	鉄建建設株式会社 土木部課長 下田公一 様
7月4日(水)	群馬営業所	鹿島建設株式会社 工事長 中島天一 様
7月9日(月)	札幌営業所	大成建設株式会社 作業所長 池田達也 様

今年も、我が社の熱い願いで各営業所へお越し頂き、安全講話をして頂きました。

そして、その貴重なお話はWEB会議システムを使い、全営業所へ配信させて頂きました。

社員一同 安全という事について改めて考え直す事が出来ました。
安全講話で頂いたお言葉を心に刻み、安全に行動して行きます。

講師の来て頂いた皆様方には大変お忙しい中、弊社安全大会に起こし下さいまして、本当に有難う御座いました。